

# すいさん山形

漁民と手をつなく広報誌

No. 377

令和6年 / 7月号

山形県漁業協同組合  
広報誌

## 心、結ぶ

6月15日

中型いか釣り船出航  
詳細は裏表紙を  
ご覧ください。



# 第59回 通常総代会開催



第59回通常総代会は、6月25日(火)午前10時より本所講堂において、総代93名(内17人が委任出席)の出席と多数のご来賓の方々、また各関係機関代表者のご臨席のもとに開催されました。

冒頭、本間昭志組合長が挨拶を行い、続いてご来賓の吉村美栄子山形県知事(村山朋也山形県庄内総合支庁長代読)、矢口明子酒田市長、松永裕美遊佐町長、笠原康弘農林中央金庫山形支店長からそれぞれご祝辞を頂戴しました。

次に、豊浦地区の伊関敦氏が議長に選出され、第1号議案令和5年度事業報告及び損失処理案の承認に関する件、第2号議案令和6年度事業計画の設定に関する件、第3号議案第7次中期改善計画の設定に関する件から第8号議案の令和6年度における役員報酬の支給に関する件まで8議案が審議され、いずれも可決承認されました。

## 令和5年度の事業概要

今年1月の能登地方を震源とする大規模地震により犠牲となられた方々に心よりお悔み申し上げますとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

当漁協と石川県漁業協同組合は、スルメイカ釣漁業や定置網漁業において連携を続けてきた歴史があり、各漁業団体の募金をとりまとめる等、現在も支援活動を続けております。

日本国内の漁業の状況に目を向けると、黒潮大蛇行が継続し観測史上最長となっており、海面水温は、黒潮主流が著しく北偏し、海洋熱波が生じ上昇したという報告があります。日本海中・北部海域においても表面海水温が平年より1.5度ほど高いという調査結果もあり、漁業者の不安を掻き立てている状況にあります。

当漁協の事業状況を顧みますと、3期連続の事業・経常損失を計上し、重ねてお詫びしなければならぬ結果となりました。昨年の2期連続損失計上の結果を踏まえた資産査定で、固定資産の引当て不足を指摘された事と基幹漁業である底曳網漁業の時代による出漁日数の激減、スルメイカの歴史的不漁、定置網漁業のサケの来遊減少が主な原因となりました。

漁獲高は計画の25億円を大きく下回り、当組合の歴史上はじめて20億円を割込む結果となりました。漁獲量も昨年実績より1,000トン以上減り、2,800トンを下回る結果となりました。

この事実を真摯に受け止め、役員一同団結して収支構造の改善と自己資本比率の向上、内部留保による財務基盤の強化に努めてまいります。組合員皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

主な事業活動と成果については左記のとおりです。

### ① 信用事業

貯金業務については、計画目標を52億円とし、本年度も「みな貯金推進運動」等を展開しながら個人貯金残高の維持・確保を図り、最終的に年度末残高は46億96万円、平均残高では49億17万円となり計画比で90.3%となりました。

貸出業務については、計画目標を5億2500万円とし伸長融資に努めたところ、最終的な年度末残高は5億4900万円となり、計画対比104.5%という結果となりました。なお、貯貸率は11.1%となり、前年対比で0.7%上回りました。

その結果、信用事業総利益は1700万円となり、前年度比200万円の減少、計画比100万円の減少となりました。

### ② 共済事業

長期共済では、基幹種目である普通厚生共済「チョコー」は推進保障共済金額12億円の計画に対し、実績は8億3900万円となり達成率は69.9%となりました。生活総合共済「くらし」は、補償共済金額4億5000万円の計画に対し、実績は4億7000万円、達成率は104.4%となり、計画を達成しました。

また、長期共済契約保有実績では、「チョコー」は48億8500万円、対前年度比91.9%(4億3100万円の減少)、「くらし」は29億3100万円、対前年度比108.5%(2億300万円の増加)となりました。

短期共済では、乗組員厚生共済ノ

「リコー」は保障共済金額8億24百万円の計画に対し、5億71百万円（達成率は69・3%）、火災共済「カサイ」は保障共済金額56億44百万円の計画に対し、48億96百万円（達成率86・6%）となりました。

組合員の高齢化に伴う廃業や漁業従事者の減少などといった社会的要因があるものの、近年多発する自然災害をはじめ、今年1月に発生した能登半島地震における一連の災害など、自然災害に対する関心の高さから建物共済の保障内容の見直しが行われました。

上記のことから、共済事業総利益は9百万円となり、前年度に対しては93・2%の実績率、計画に対しては83・9%の達成率となりました。

### ③ 購買事業

当組合の主要取扱品目であるA重油の供給数量は、生いか漁船の不漁による入港隻数の減少、中型いか釣船への供給減、また底曳網漁船をはじめ沿岸漁船についても時化により出漁日数が減少し、前年度から258kl減の3,777klで前年比93・6%、計画比94・4%となりました。

軽油についても生いか船の不漁による入港隻数の減少が大きく響き、更に沿岸漁船の出漁日数の減少も重なり、前年度から141kl減の636klで前年比81・8%、計画比84・8%となりました。

灯油については、記録的な暖冬により企業向け、個人向け共に供給数量が減少し前年度から195kl減の1,069klで前年比84・5%、計画比

82・2%となりました。また、潤滑油については、中型いか釣船への供給減により前年対比87・0%で推移しております。

これにより石油類全体での供給数量は前年比90・2%、計画比91・0%となりました。

魚箱類は主要漁業における不漁、出漁日数の減少により供給数量が大幅減少となり、前年比70・8%、計画比72・9%の実績となっております。一般資材類につきましては補助事業や制度資金の購買取扱があり、前年比126・5%、計画比102・0%の実績となりました。

その結果、購買事業総利益は1億33百万円となり前年比85・2%、計画比81・0%の達成率となりました。

### ④ 販売事業

一昨年度、当組合合併後初めて4,000トンを超えて水揚数量は減少傾向に歯止めがかからず、ついには本年度3,000トンにも満たない2,680トンと過去最低を更新する結果となりました。

年間出漁日数が90日にとどまった底曳網漁業では500トン、また、スルメイカの不漁により小型、中型のいか釣漁業ではそれぞれ300トン、前年度に比べ減少したことが主な要因となっております。

漁獲量の減少に加え、新型コロナウイルスの5類感染症への移行で需要回復が進んだことで魚価は総じて上昇したものの、水揚金額は20億円を下回る19億67百万円と数量同様過去最低となりました。

買取販売では、冷凍イカは全国的

な水揚数量不足によって高騰し、酒田港で水揚げされたその総平均単価は13,600円と前年度比160%となりました。漁期終盤は保守的な取引から荷動きが鈍化したことで販売が伸び悩み、期末計画2,000ケースに対し6,600ケースを繰り越すこととなりました。

一方、鮮魚ではマダイを中心に新潟向け出荷が増加したことで仕入高、販売高ともに前年度に比べ倍以上の取り扱いとなりました。

その他の取組として、冷凍イカの営業、中型を含む県外いか釣船の誘致に注力したほか、県行政及び県水産物卸売協会と連携し、県内陸部量販店での庄内浜産水産物の消費拡大キャンペーンを昨年度に引き続き展開しました。

以上のことから、本年度の販売事業総利益は99百万円となり、前年度対比88・2%、13百万円の減、計画に対しては45百万円の減、達成率は69・0%にとどまりました。

### ⑤ 製氷冷凍冷蔵事業

工場生産の合理化に努め、組合員に対する安定供給を優先し、なおかつ電気料金を始めとする経費の抑制に努め、事業展開をいたしました。

小型いか釣漁業への供給については、夏季、冬季ともに県外船への供給が前年に比べ大幅に減少し、前年対比42%の供給数量となり、底曳船を主とする地元沿岸漁業への供給も漁場環境の悪化などにより前年度に比べ減少しました。

この結果、数量で前年対比77・4

%の2万9千本、供給高では前年対比84・1%の57百万円となりました。最終的に製氷冷凍事業総利益は16百万円となり、前年度に対し89・3%の実績率、計画に対し81・6%の達成率となり非常に厳しい結果となりました。

### ⑥ 加工事業

脱コロナ禍の動きが加速する中で、消費動向も回復傾向と思われましたが、慢性的に続く漁獲量減少に伴い加工向け原料の仕入れ価格が上昇し、冷凍原料・製品販売価格の値上げとなりました。加工品販売47百万円（前年度対比66・8%）、原料販売64百万円（前年度対比124・1%）となり、それに産直事業を加えた加工事業全体の収益は180百万円（前年度対比106・9%）の実績となりました。

加工事業費用については、資材等の値上げなどにより製造経費が大きく嵩み171百万円（前年度対比111・7%）となりました。

これらにより、加工事業総利益は9百万円となり、前年度対比58・6%・計画対比127・2%となりました。

本年度は庄内病院への病院食の原料納入に取り組んだほか、「県漁協直営店 庄内海丸」の桜田店が稼働しました。既存のしるにし店と連携して事業展開を行い、引き続き庄内浜のPRを行うとともに、地産地消・魚食普及に努めてまいります。

### ⑦ 指導事業

繁殖保護については、県・沿岸市

町の協力を得て、各種種苗の放流を実施し、資源の増殖及び繁殖保護に努めました（放流尾数 アワビ168,600個、ヒラメ98,000尾）、継続して取り組んでいるにもかかわらず資源状況が悪化する現状を鑑み、回帰率や回収率の向上のための放流適期・放流手法の検討を引き続き県水産研究所、市町と連携して行っております。

営漁指導については、「浜の活力再生広域プラン」「浜の活力再生プラン」に継続的に取り組んだ他、漁業経営の改善に意欲的に取り組む中核的漁業者を支援するため、県・市町と連携し、「浜の担い手漁船リース緊急事業」を積極的に推進することによって、新船建造・代船導入・機関換装等、浜の漁業経営構造の改革に取り組みました。

また、浜の担い手漁船リース事業及び水産業成長産業化沿岸地域創出事業のリース事業者となることを目的として設立した一般社団法人山形県漁業リース協会を運営し、リース事業において漁協事業を有効に利用する事業運営方法により実施しております。

その他、県と沿岸市町が令和3年度から新たに予算措置した「水産業成長産業化支援事業」を活用し、新たに漁業に就業する漁業者の中古漁船の取得を支援するとともに、既存の漁業者についても水産業の成長産業化に資する漁労資機材の取得を支援した他、処理水影響対策支援基金事業（ALPS処理水の海洋放出に

伴う影響を乗り越えるための漁業者支援事業）事業については、各地区で説明会を開催し周知徹底を図りました。

遭難救助においては、山形県水難救済会と連携し、海難に迅速に対応できるよう組織体制の構築に努め、山形県水難救済会が主催する「山形県合同海難訓練」の実施に際しては、沿岸市町と共に積極的に支援しました。

その他の取組としては、外国人漁業実習制度において当組合が監理団体となり、実習生の受け入れに継続して取り組まれました。中型いか釣り、定置網および小型いか釣りにおいて、インドネシア研修生7名を受け入れております。

また、新規漁業者関係事業について、3名の研修生を受け入れたところ、2名は研修先に就業し、1名は研修を継続しております。

洋上風力発電事業について、「再生エネ海域利用法」に基づき海洋再生可能エネルギー発電設備促進区域に指定された遊佐沖では、経済産業省及び国土交通省より公募占用指針が定められ公募が開始されております。

また、酒田沖では国による適地確認のための調査が実施されておりますが、県に対しては決して前のめりにならず、誤解のない丁寧な説明を求めております。併せて、当該海域を代々利用している地元漁業者が、洋上風力発電に対して正確に理解できるように、将来を見据えた判断ができるよう情報の提供に努めました。

### 理事会情報

令和6年度 第2回 理事会議案  
開催日…令和6年6月4日(火)  
場所…本所 第1会議室

#### 【協議事項】

- 1 令和5年度 期末監事監査の報告について
- 2 第59事業年度通常総代会の提出議案について
- 3 令和5年度 貸借対照表・損益計算書及び注記表並びに業務報告書について
- 4 令和6年度 事業計画(案)について
- 5 第7次中期経営改善計画(案)について
- 6 定款及び定款附属書役員選任規程及び信用事業規程の一部変更について(案)
- 7 令和6年度資金運用計画(案)について
- 8 令和6年度 栽培漁業地域展開促進事業実施計画(案)について
- 9 農林中央金庫2024年度資本再構築に係る協力依頼について
- 10 由良総括支所の市場扉(海側)について
- 11 貸付金の審議について
- 12 理事の利益相反行為に該当する貸付金の審議について
- 13 不祥事対応策本部の設置について

#### 【報告事項】

- 1 会計検査院における会計実地検査の受検結果について
- 2 令和5年度 固定資産減損損失の兆候について
- 3 令和5年度 自己資本比率の状況について
- 4 令和5年度 税効果会計の適用について
- 5 組合員の加入・脱退について
- 6 その他

### 理事会情報

令和6年度 第3回 理事会議案  
開催日…令和6年7月9日(火)  
場所…本所 第1会議室

#### 【協議事項】

- 1 令和6年6月末現在における収支状況について
- 2 令和6年度における理事の報酬(案)について
- 3 行政庁に提出する業務報告書及び事業計画書について
- 4 2023年度全漁連賦課金等納入について
- 5 令和6年度指導事業賦課金徴収方法及び時期(案)について
- 6 令和5年度ディスクロージャー誌の発行について
- 7 経済事業システムに係るハードウェア、タブレットの更新及びクラウドサーバーの導入について
- 8 農林中央金庫2024年度資本再構築に係る協力依頼の件について(再協議)
- 9 貸付金の審議について
- 10 理事の利益相反行為に該当する貸付金の審議について
- 11 内部監査結果について
- 12 コンプライアンス推進委員会の開催について
- 13 債権管理委員会の開催における令和6年度第1四半期における販売促進活動について

#### 【報告事項】

- 1 組合員の脱退について
- 2 令和6年6月末現在における貸付金の状況について
- 3 令和6年6月現在における資金運用状況について
- 4 貸付金利率の改定について
- 5 令和6年度第1四半期の「庄内海丸」の収支について
- 6 「あるべき洋上風力を求める会」の意見書について
- 7 常例検査日程について
- 8 令和6年6月末余裕金の運用状況について
- 9 その他

## 人事異動のお知らせ

◆異動(発令日:令和6年7月22日付(は旧所属))

佐久間 秋 水産加工場  
(さかた総合市場)

# 水産関係団体 令和5年度 事業の概要

## 日本漁船保険組合 山形県支所

日本漁船保険組合は6月18日に開催された令和6年度通常総代会において、任期満了に伴う役員改選が行われ、三宅会長をはじめ3副会長が再選されました。また令和5年度の事業並びに決算報告、令和6年度の事業計画並びに予算が承認されました。新体制と山形県支所の令和5年度の事業概要を以下のとおりご報告いたします。

### ○日本漁船保険組合役員（任期 令和6年6月19日から3年間）

会長理事	三宅 哲夫	常務理事	田中 伸夫	理事	藪田 国之	理事	金井 関一
副会長理事	中林 博樹	理事	亀田 元教	理事	小林 利幸	代表監事	吉川 宏夫
副会長理事	嶋田 栄人	理事	福島 哲男	理事	谷口 靖	監事	森 祐
副会長理事	大坂 鉄夫	理事	阿部 達男	理事	後藤 正喜	監事	長岡 英典
専務理事	吹上 圭一	理事	畑中 英男	理事	森崎 真吾	常勤監事	長崎 宏道
常務理事	本田 直久	理事	鈴木 清	理事	東恩納 博		

### ○山形県支所 総代・運営委員（任期 令和6年6月1日から3年間）

総代・運営委員長	伊原 光臣（再任）	運営委員	本間 昭志（再任）	運営委員	池田 薫（再任）
運営委員	飯塚 厚司（再任）	運営委員	佐藤 昭（再任）	運営委員	齋藤 辰幸（再任）
運営委員	本間 元幸（再任）	運営委員	田代 善幸（再任）		
運営委員	榎本 敏明（再任）	運営委員	鈴木 徳正（再任）		

表1 漁船保険地区別加入実績及び支払実績

支所名	在籍漁船	加入漁船	保険金額	純保険料	事故件数	支払保険金	損害率	事故率
念珠関	134隻	118隻	821,080千円	12,380,232円	16件	7,320,204円	59.1%	13.6%
温海	37	33	164,660	2,571,334	4	578,330	22.5	12.1
豊浦	63	54	459,520	6,370,603	8	4,479,224	70.3	14.8
由良	63	51	371,000	7,007,889	8	5,945,798	84.8	15.7
加茂	45	31	145,800	3,239,578	3	3,563,601	110.0	9.7
さかた総合	86	79	736,680	14,397,780	23	19,970,393	138.7	29.1
吹浦	36	32	130,650	2,729,144	1	192,114	7.0	3.1
飛鳥	76	58	249,930	4,849,931	14	8,159,827	168.2	24.1
その他	6	4	2,009,000	5,445,300	1	136,893	2.5	25.0
合計	546	460	5,088,320	58,991,791	78	50,346,384	85.34%	16.96%
前年同期	569	488	5,176,830	62,443,395	83	39,414,255	63.10%	17.00%
前年同期比(%)	96.0%	94.3%	98.3%	94.5%	94.0%	127.7%	135.3%	99.7%

\*在籍漁船には山形県漁業協同組合所有船「第18漁連丸」を含む。

\*在籍漁船隻数は、令和6年3月31日現在。加入漁船数は、令和5年4月1日～令和6年3月31日までの累計。

表2 漁船船主責任保険等加入実績と保険金支払状況

種類	本年度契約金額		支払保険金		種類	本年度契約金額		支払保険金		
	隻数	金額(千円)	件数	金額(円)		隻数	金額(千円)	件数	金額(円)	
漁船船主責任保険	基本損害	451	342,800,000	8	74,106,057	漁船乗組船主保険	339	298,500	1	1,000,000
	乗客損害	89	35,180,000	0	0	漁船積荷保険	0	0	0	0
	人命損害	61	176,000	0	0	プレジャーボート責任保険	203	27,200,000	2	95,026

### 令和5年度 無事故漁船所有者等表彰



### 水産庁長官表彰

さかた総合市場 第五平成 佐藤 稔

### 日本漁船保険組合会長表彰

念珠関総括支所 漁勝丸 高橋 幸夫

豊浦支所 富士丸 佐藤 勝靖

さかた総合市場 第十八萬代丸 阿部 司

さかた総合市場 漁吉丸 阿部 清浩

# 全国合同漁業共済組合 山形県事務所

本県の令和五年度の水揚高は19億68百万円となり、前年度対比で5億23百万円の減少となりました。主な要因としては沿岸漁業が総じて水揚不振となり、特に底曳網漁業、定置網漁業及びいか釣り漁業は水揚げ減少となりました。また、恒常的な問題となっている漁業者の高齢化、魚価安と燃油価格の高止まり状況、海洋環境の変化・担い手不足等も相まって漁業経営を一段と厳しくしております。

このような漁業環境にあつて、本年は「ぎよさいと積立ぶらす」のより一層の定着を期して普及推進全国運動を展開するとともに、併せて「資源管理・収入安定対策事業」を説明しながら未加入船を中心に推進運動を展開しました。

その結果、酒田市の小型合併漁業で1件の新規加入がありました。前年度同期比での漁獲共済の加入件数は169件と14件減少となり、共済金額においては前年を大きく下回ることとなりました。

長期にわたる漁業環境、経営環境の悪化が「ぎよさいと積立ぶらす」にその役割と期待を更に大きくするものと思われれます。

ここにあらためまして、漁業者各位のご理解とご協力に感謝を申し上げます。

## (令和5年度 21都府県事務所別 実績一覧表)

事務所別引受実績

(単位:百万円)

事務所	本年	前年	増減
	共済金額	共済金額	
秋田県	813	811	2
※ 山形県	1,405	1,468	△ 63
福島県	4,648	4,664	△ 16
茨城県	19,244	18,858	386
東京都・本所	5,465	5,145	320
神奈川県	4,190	4,177	13
静岡県	12,394	12,506	△ 112
新潟県	5,552	5,862	△ 310
石川県	11,422	11,023	399
福井県	5,882	5,789	93
愛知県	6,586	6,131	455
京都府	3,713	3,611	102
大阪・和歌山	8,617	8,103	514
岡山県	2,283	2,394	△ 111
鳥取県	11,080	10,348	732
島根県	12,022	11,587	435
山口県	6,642	6,576	66
高知県	27,417	23,541	3,876
大分県	17,077	14,601	2,476
沖縄県	7,269	6,894	375
合計	173,721	164,089	9,632

事務所別支払実績

(単位:百万円)

事務所	本年	前年	増減
	共済金	共済金	
秋田県	29	55	△ 26
※ 山形県	22	47	△ 25
福島県	267	273	△ 6
茨城県	223	569	△ 346
東京都・本所	19	27	△ 8
神奈川県	73	169	△ 96
静岡県	179	624	△ 445
新潟県	194	224	△ 30
新潟県	106	212	△ 106
福井県	59	196	△ 137
愛知県	58	319	△ 261
京都府	54	43	11
大阪・和歌山	58	116	△ 58
岡山県	78	269	△ 191
鳥取県	117	220	△ 103
島根県	189	318	△ 129
山口県	168	230	△ 62
高知県	80	161	△ 81
大分県	307	359	△ 52
沖縄県	288	380	△ 92
合計	2,568	4,811	△ 2,243

積立ぶらす

(単位:千円)

事務所	漁業者積立額	払戻補填金
秋田県	42,640	65,520
※ 山形県	57,900	138,200
福島県	177,260	534,880
茨城県	617,830	782,880
東京都・本所	395,450	424,480
神奈川県	338,150	798,880
静岡県	983,680	1,275,160
新潟県	472,600	1,068,280
新潟県	700,280	1,013,920
福井県	310,380	925,960
愛知県	232,530	225,520
京都府	194,930	147,880
大阪・和歌山	356,040	195,800
岡山県	106,120	115,240
鳥取県	446,580	395,170
島根県	558,570	785,880
山口県	353,310	689,380
高知県	1,087,470	247,360
大分県	622,120	93,920
沖縄県	213,500	175,000
合計	8,267,340	10,099,310

## ぎよさい加入で安心経営



つなぐちゃん

# JF共水連東北事業本部 山形支店

☆JF共済 2023年度加入状況 (単位：件、万円)

共済種類	実績		保有			
	件数	共済金額	件数	共済金額		
長期共済	チョコー	新規	103	84,730	839	510,320
		純新規		67,310	—	—
	くらし		35	46,960	251	305,460
	年金	新規	5	20	309	2,095
増額		5	7			
短期	ノリコー		193	59,300	—	—
	カサイ		322	516,879	—	—

☆2023年度共済金支払状況

普通厚生共済 (チョコー)		
満期	53件	10,622万円
死亡	2	815
入院・通院他	97	721
計	152	12,158

生活総合共済 (くらし)		漁業者老齢福祉共済 (ねんきん)	
満期	11件 930万円	年金	174件 2,708万円
事故	9 513	死亡	0 0
計	20 1,443	計	174 2,708

乗組員厚生共済 (ノリコー)		火災共済 (カサイ)	
死亡	1件 150万円	3件	293万円
入院他	0 0	団体信用厚生共済 (ダンシン)	
計	1 150	0件	0万円

JF共済は2023年度「浜の笑顔」を共済とともに、JF共済3か年計画(2023年度(2025年度)の初年度として、浜のあんしんサポート運動を主体とした「組合員・地域住民の暮らしの保障に万全を期す」取り組みを実施しました。本県JF共済推進本部は昨年度、新3か年スタートダッシュキャンペーンを実施し、JF共済の普及拡大に向けた推進活動をはじめ、会議・研修会の更なる充実を図るなど、推進体制の強化に努めました。このほか東北6県合同「浜の笑顔」に

ツと寄り添うキャンペーン」を行ない、事業量目標の早期達成に向けたキャンペーンを実施しました。その結果、JF共済の基幹種目である生命共済「チョコー」は達成率70%と目標達成には至りませんでした。一方、「建物共済(くらし)」は達成率104%となり目標達成することが出来ました。これは近年、風害・水害事故が全国的に多発していることと、今年1月に発生した能登半島地震をうけて建物の補償点検活動を

実施したことにより実績増につながりました。2021年度よりスタートした「浜のあんしんサポート運動(浜サポ)」は実施3年目を迎え、世帯台帳整備・契約内容確認活動を行ない、ご加入されている方々へのニーズに沿った必要保障(補償)のご提案をさせていただきます。ご協力いただきました組合員・地域住民の皆様には厚く御礼を申し上げますとともに、今年度も積極的な運動展開をして参りますので、引き続きのご理解とご協力をお願い申し上げます。

「JF共済3か年計画」運動スローガン (2023年度～2025年度)



「浜の笑顔を共済とともに」

がんばろう漁業 浜の応援団

「組合員のため」が「組合のため」に

浜のあんしんをサポート JF共済

## 2024年度「JF共済」全国担当者研修会開催 本県から2名が出席

2024年度「JF共済」全国担当者研修会が7月19日、千葉県舞浜市で開催されました。

本研修会は、全国の共済担当者を一堂に会し意識の高揚と連帯感の醸成を図り推進機運を盛り上げJF共済の普及拡大を目的として3か年の中間年度、最終年度に開催されているものです。

今年度、JFやまがたからは本所信用共済課佐藤智穂さん、念珠閣総括支所鈴木尚之さんよりご出席いただきました。

研修会当日は福井県JF若狭三方、徳島県JF牟岐町からの実践報告の他、外部講師による講演が行われ、研修終了後の交流会では各県の活動について意見を交わすなど有意義な研修会となりました。

研修会場の様子



JF共水連東北事業本部山形支店 坂本 淳

# 全国漁業信用基金協会 山形支所

## (1) 会員と出資金

会員数は新規加入0名、脱退2名により本年度末会員数は53名となりました。また、出資金は口数の増加により200千円増加する一方、脱退会員に対する払戻により950千円減少し、本年度末出資金は658,350千円となりました。

## (2) 保証業務

年間保証計画額90,000千円（漁業近代化資金：75,000千円、その他一般資金：15,000千円）を目標に保証推進を行った結果、年間保証引受額は20件93,550千円となり、その結果、本年度末保証残高は91件425,411千円となりました。前年度末対比では、件数7件、保証残高22,543千円増加しております。なお、資金種類別の保証状況は下表のとおりであります。

## (3) 代位弁済と求償権

本年度において、代位弁済は発生いたしませんでした。求償権の回収については、求償債務者等の高齢化等により厳しい状況にありましたが、回収計画4,753千円に対し14,708千円の回収実績となりました。また、求償権償却基準に合致した求償債務者3名17件163,634千円の償却を実施いたしました。その結果、本年度末求償権残高は前年度より20件178,342千円減少し、91件895,627千円となりました。

なお、資金種類別の回収状況は下表のとおりであります。

表1 債務保証と償還状況

(単位：件、千円)

区分	前年度末保証残高		保証引受額		償還額		代位弁済額		本年度末保証残高		
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	
漁業近代化資金	61	369,986	17	90,150	10	62,482	-	-	68	397,654	
沿岸漁業改善資金	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
一般資金	金融公庫資金	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	一般緊急融資資金	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	借替緊急融資資金	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	その他一般資金	23	32,882	3	3,400	3	8,525	-	-	23	27,757
	小計	23	32,882	3	3,400	3	8,525	-	-	23	27,757
計	84	402,868	20	93,550	13	71,007	-	-	91	425,411	

表2 求償権回収状況

(単位：件、千円)

区分	前年度末求償権残高		代位弁済額		求償権回収額		求償権償却額		本年度末求償権残高		
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	
漁業近代化資金	11	129,043	-	-	-	350	2	38,207	9	90,486	
沿岸漁業改善資金	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
一般資金	金融公庫資金	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	一般緊急融資資金	21	58,805	-	-	1	1,492	1	6,017	19	51,296
	借替緊急融資資金	26	379,040	-	-	2	9,949	6	71,537	18	297,554
	その他一般資金	53	507,082	-	-	-	2,917	8	47,873	45	456,291
	小計	100	944,927	-	-	3	14,358	15	125,427	82	805,141
計	111	1,073,970	-	-	3	14,708	17	163,634	91	895,627	

# イカ・マグロまつり2024開催!!

6月22日(土)念珠関総括支所市場内において、「～酒と肴と鼠ヶ関～イカ・マグロまつり2024」が開催されました。私はメインイベントのマグロ解体ショーに念珠関総括支所の阿部支所長と共に参戦し、さばきたてのマグロが多くのお客様に振舞われました。

今回の解体ショーに使用されたマグロは、念珠関総括支所所属の第8海運丸・佐藤良太氏が釣り上げた約40キロのマグロで脂乗りもよく大好評でした。

また、屋台コーナーでは地元鼠ヶ関のお店や県内各地からのキッチンカーが出店し、地酒飲み放題やスルメ卓球など様々なブースがあり、大いに賑わいました。

来年も開催される予定ですので、今年来られなかった方は来年ぜひご参加ください!

念珠関総括支所 池田 竜朗





# 令和5年度 水揚表彰



## 山形県漁協水揚優秀船表彰

漁業種類	船名	船主名	所属支所等
船東県外中型船	50t以上	第86若潮丸	石垣漁業(株) 根室漁協
底曳網ほか	15~20t	第28廣徳丸	池田 亀五郎 さかた総合市場
	10~15t	第21末廣丸	(有)末廣水産 念珠関総括支所
		第5平安丸	五十嵐安哉 念珠関総括支所
		恵徳丸	佐藤 利光 念珠関総括支所
5~10t	第2漁吉丸	阿部 清浩 さかた総合市場	
5t未満	福傳丸	阿部 昌樹 さかた総合市場	
はえ縄・一本釣刺網ほか	3t以上	第8海運丸	佐藤 良太 念珠関総括支所
	1~3t	海成丸	本間 金弥 念珠関総括支所
		海生丸	五十嵐健生 由良総括支所
定置網		嶺神丸	(有)仁三郎 豊浦支所
採介藻ほか	1t未満	幸進丸	榊原 英樹 由良総括支所
鮮いか県外船	30t未満	第31長進丸	長根 サツ 階上漁協

## 水揚優秀船漁撈長表彰

表彰基準	表彰者名	船名
県外船	本間 健	第86若潮丸

## 酒田市水揚優秀船表彰

区分	漁業種類	船名	船主名	所属支所等
県外	いか釣	50t以上	第86若潮丸	石垣漁業(株) 根室漁協
		30t未満	第31長進丸	長根 サツ 階上漁協
県内	底曳網	5t以上	第2漁吉丸	阿部 清浩 さかた総合市場
		5t未満	福傳丸	阿部 昌樹 さかた総合市場
		5~30t	第18睦丸	池田 敏行 さかた総合市場
	いか釣	5t未満	第28宝運丸	進藤 優一 飛鳥支所
			第21大幸丸	讃岐 隆 さかた総合市場
	地先	3~5t	永福丸	阿部 英敏 さかた総合市場
			第8双葉丸	本間 勤 飛鳥支所
		3t未満	八栄丸	小林 信義 さかた総合市場
	磯見		豊幸丸	佐藤 秀樹 飛鳥支所
			第3珠喜丸	進藤 一喜 飛鳥支所

## 鶴岡市水揚優秀船表彰

漁業種類	船名	船主名	所属支所等
底曳網	10t以上	第21末廣丸	(有)末廣水産 念珠関総括支所
		恵徳丸	佐藤 利光 念珠関総括支所
		第5平安丸	五十嵐安哉 念珠関総括支所
	5~10t	第2千祥丸	佐藤 栄一 由良総括支所
		清徳丸	佐藤 清紀 念珠関総括支所
沿岸	3t以上	第8海運丸	佐藤 良太 念珠関総括支所
	3t未満	海成丸	本間 金弥 念珠関総括支所
		海生丸	五十嵐健生 由良総括支所
		龍鵬丸	劔持 浩 念珠関総括支所
	定置網		嶺神丸
磯見	1t未満	幸進丸	榊原 英樹 由良総括支所
		白山丸	榊原 昭夫 由良総括支所

## JF 山形県漁業協同組合

自分に合う仕事が見つかる。ここに。

# 職員

# 大募集!!



面接等で希望を聞いたうえで配属先を判断させていただきますので、お仕事を探している方、まずはご一報ください。(フルタイムでもパートタイムでもOK。給与要相談、正社員登用もあります)

**市場業務**  
漁獲物の運搬、荷受け、セリ入札等

**一般事務**  
伝票作成、仕切書作成等

**加工場業務**  
加工品製造、販売等



私たちと一緒に働きませんか?

連絡先 山形県漁業協同組合 本所 TEL 0234-24-5611 (担当 本多)

# 酒保の海だより

## 今年の日差しは”刺さるようにキツイ“

酒田海上保安部から皆様のお役に立つ情報第十三弾！！  
 今年は太陽活動が活発なせいか、春ごろから日差しがキツイと感じませんか？

後頭部の耳の  
 高さより上あたりを触っ  
 てみる

### 気付かない！後頭部の熱(こもり熱)



知らず知らずのうちに後頭部の一部に熱がたまっていることがあります。  
 熱いと感じないし、頭痛もありません。  
 歳を取るほど感じにくくなります。  
 これに気が付かないまましていると、熱中症や目まいを引き起こすことがあります。  
 たまに後頭部を触ってみて熱いなど感じたら早めに濡れたタオルや冷却スプレーなどで冷やしましょう。  
 適度な水分補給も忘れずに！  
 暑い夏を賢く乗り切りましょう



海の事件・事故は電話118番

酒田海上保安部

### 漁業種類別前年度水揚対比表

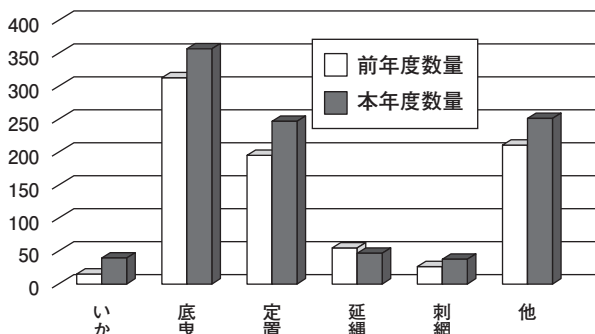
令和6年6月30日現在

(単位：kg, 千円)

	6月数量	本年度数量	前年度数量	数量増減	6月金額	本年度金額	前年度金額	金額増減
1 底曳網漁業	149,404	354,728	310,547	44,181	104,754	235,974	171,655	64,319
2 刺網漁業	5,480	37,759	25,855	11,904	3,917	26,222	18,519	7,703
3 いか一本釣漁業	33,805	38,505	14,690	23,815	34,518	40,231	17,578	22,653
4 船凍いか釣漁業	0	0	0	0	0	0	0	0
5 はえなわ漁業	32,591	45,964	54,095	▲8,131	64,541	80,896	85,516	▲4,620
6 ごち網漁業	5,242	6,565	10,206	▲3,641	2,842	3,560	5,932	▲2,372
7 定置網漁業	59,790	245,963	192,824	53,139	19,159	83,964	69,765	14,199
8 採貝藻漁業	21,415	46,812	27,269	19,543	20,447	52,126	31,340	20,786
9 その他の漁業	75,458	194,117	166,444	27,673	26,243	59,183	44,157	15,026
10 張網漁業	0	1,548	4,839	▲3,291	0	767	2,694	▲1,927
11 遊漁、直売、県外	0	0	0	0	1,230	8,851	5,031	3,820
合計	383,185	971,961	806,769	165,192	277,651	591,774	452,187	139,587

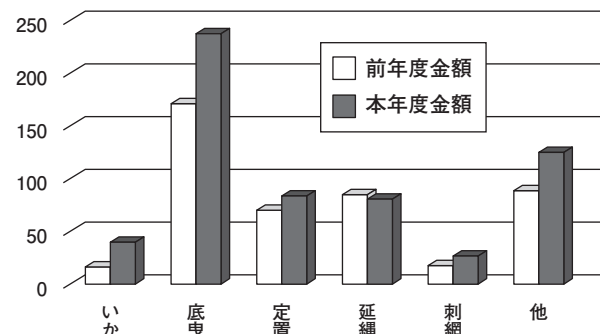
単位：トン

水揚数量対比表



単位：百万円

水揚金額対比表



がんばろう北陸！ 浜の応援団キャンペーン実施中！

# 水揚情報

令和6年6月30日現在

(単位：千円)

区分	支所別	水揚合計	水揚地内訳							
			吹浦	飛島	酒田	加茂	由良	豊浦	温海	念珠関
5月末迄水揚累計		306,501	13,908	6,103	54,289	34,795	61,443	43,565	6,326	86,072
月間水揚	県内船水揚	245,053	13,054	9,499	40,300	14,357	45,096	27,037	11,786	83,924
	県外船水揚	31,370	0	0	19,042	0	0	0	0	12,328
	合計	<b>276,423</b>	<b>13,054</b>	<b>9,499</b>	<b>59,342</b>	<b>14,357</b>	<b>45,096</b>	<b>27,037</b>	<b>11,786</b>	<b>96,252</b>
前年同月水揚		191,737	11,359	10,276	38,998	13,219	31,384	22,094	10,015	54,392
本年度水揚	県内船水揚	546,225	26,962	15,602	91,423	49,152	106,539	70,602	18,112	167,833
	県外船水揚	36,698	0	0	22,207	0	0	0	0	14,491
	合計	<b>582,923</b>	<b>26,962</b>	<b>15,602</b>	<b>113,630</b>	<b>49,152</b>	<b>106,539</b>	<b>70,602</b>	<b>18,112</b>	<b>182,324</b>
前年度水揚累計		447,156	22,028	14,855	87,455	42,914	77,222	57,816	16,975	127,891
増減		135,767	4,934	747	26,175	6,238	29,317	12,786	1,137	54,433
本年度水揚計画		2,237,000	92,000	65,000	929,000	122,000	287,000	181,000	27,000	534,000
達成率		26.0%	29.3%	24.0%	12.2%	40.2%	37.1%	39.0%	67.0%	34.1%

## 今あがっている魚

### - 6月のベストテン -

前年対比 増↗ 減↘ 変らず→

水揚金額 (千円)			漁獲量 (kg)			
1	するめいか	91,294 ↗	1	するめいか	105,833 ↗	 <p>月間MVP</p>
2	まぐろ類	63,402 ↗	2	べにずわい	58,620 ↗	
3	ほっこくあかえび	16,458 ↘	3	まぐろ類	30,233 ↗	
4	かき貝	13,076 ↗	4	ぶり・いなだ	29,360 ↘	
5	もずく	10,816 ↗	5	あじ	16,236 ↗	
6	べにずわい	8,207 ↗	6	たい	14,443 ↘	
7	たい	8,089 ↘	7	にぎす	12,025 ↘	
8	さざえ	6,129 ↗	8	さざえ	11,049 ↗	
9	ぶり・いなだ	5,846 ↘	9	かき貝	9,975 ↗	
10	あじ	5,415 ↗	10	ほっこくあかえび	8,270 ↘	

◇「おいさん山形」は組合員皆様方と様々な情報や話題を共有し、愛される広報誌づくりを心掛けております。今後もご意見・情報等ご提供くださいますようお願いいたします。

◇今月号には漁業協同組合及び水産関係団体の事業概要が掲載されております。令和5年度の漁獲高は20億円を割り込み、漁獲量は昨年度対比1,000トン以上減るなど厳しい結果となりました。当協会といたしましては、漁船リース事業及び漁業経営改善保証円滑化事業等を活用した漁業近代化資金や事業資金及び生活資金を通じて、引き続き漁業者の皆様のニーズに応えたサービスや利用しやすい安定した保証制度を提供して参ります。是非、ご利用くださいますようお願い申し上げます。

◇6月15日に本県のいか釣り船団が酒田港袖岡埠頭から出航しました。例年盛大に行われる出航式は、能登半島沖地震の影響により中止となりました。近年、本県の主力魚種であるスルメイカは環境変化等の理由から不漁が続いておりますが、船団の方々は過酷な状況を乗り越え、私たちのものとおいしいイカを届けてくれることと思います。「いかのまち酒田」の発展のためにも航海の安全と大漁を心よりご祈念申し上げます。

◇元日に発生した能登半島地震から半年が経過しました。被災地は復興へ向け歩み出しているものの、建物の解体作業は進まず、未だに避難所での生活を余儀なくされている方々が多くいるなど、復旧・復興にはほど遠い状況にあります。一日も早く平穏な日々が訪れるよう心よりお祈りいたします。



全国漁業信用基金協会山形支所  
執行役員 芝田 秀樹

# 海上保安協会東北地方本部長表彰

去る6月26日(水)、酒田港湾合同庁舎において、令和6年度海上保安協会山形県支部役員会・総会が開催されましたが、その総会において、海上保安協会東北地方本部長表彰が執り行われ、当漁協代表理事組合長の本間組合長が受賞しました。

当会は、安全で安心な社会の実現に寄与し、あわせて海上保安活動に関係する者の福祉を増進することを目的とした団体で、海上における防犯、安全確保及び環境の保全をはじめとして、様々な事業を行っております。

本間組合長は、平成29年より海上保安協会の副支部長に就任しており、通算7年に亘りご尽力されてきた功績が認められ、この度の受賞となりました。

この度は、本当におめでとうございます。本間組合長の今後の増々のご活躍をご祈念いたします。



## 酒田海上保安部長感謝状贈呈

7月2日(火)、由良総括支所において、海上保安部長より感謝状の贈呈式が行われました。

今回感謝状を受けたのは、豊浦支所所属の第二十八勝丸船主今野勝さん、嶺神丸船主の伊関領平さん、嶺神丸乗組員の佐藤智弘さん、土場喬之さん、横尾遥輝さんの5名です。

5月12日(日)の午前10時頃、「鶴岡市堅苔沢港沖合で、釣りをしていたミニボートが転覆し、男性が漂流している」と海上保安部を通じて救助要請を受けた山形県水難救済会の救難所員5名が、自

船にて捜索を開始したところ、転覆船の船首にしがみついている漂流している釣り人を発見し、救助しました。

救助された男性は、低体温症の危険もありましたが、男性が救命胴衣をしっかりと着用していたことに加え、素早かつ的確に対応したことにより、無事救助に繋がりました。まさに普段からの救助訓練が生かされました。

山形県水難救済会の皆様の活動に心から敬意を表するとともに、海難事故が無くなるようご祈念申し上げます。

# 中型いか釣り船出航！ ～漁火まつり開催～



いか釣り船の出航を待ちながら談笑する石川県漁協 小木支所運営委員長の山下久弥さん(左)と山形県漁協の本間代表理事組合長

中型いか釣り船出航の季節が訪れました。出航前夜の6月14日(金)には、能登半島地震で影響を受けた方々を応援しようと、当漁協、GOODLIFEISLAND合同会社の共催で、チャリティイベント「漁火まつり」が初開催されました。

まつりでは、地元の太鼓団体「太鼓道場風の会」が迫力のある演奏をする中、中型いか釣り船4隻が次々と漁火を点火し、いつもの酒田港とは打って変わった幻想的な美しい夕暮れとなりました。漁火を着て来場者がお酒を酌み交わす中、当組合職員が呼びかけて集まった、20万円を越す募金は、石川県漁協小木支所へお届けさせていただきましたこととなりました。

翌日、中型いか釣り船4隻が、漁業関係者や家族・友人等に見送られながら次々と出航していきました。

厳しい漁模様が続きいか釣り船団ですが、誓いと決意を新たに、今年もまた過酷な漁に出陣しました。我々職員一同も、気持ちを新たに、漁業者の皆様をサポートしていくとともに、大漁と航海の安全を祈願しつつ、皆様が笑顔で帰航することを心待ちにしております。

